

第5回日米文化教育会議

1. 期日 1970年3月18日～23日

2. 場所 東京

3. 議題

(1) 第1回会議以来の両国間文化教育交流の総合的検討

(2) アジア諸国に対する両国教育文化計画の経験の交換

(3) 教育交換計画の拡大とこれに関連する問題

(4) 両国の有識層・文化人の相互理解増進に関する諸問題

4. 代表

(1) 日本側代表

首席代表 森戸辰男 日本育英会会長

時子山常三郎 早稲田大学総長

中山伊知郎 一橋大学名誉教授

吉識雅夫 日本学術振興会理事長

山田久就 衆議院議員

藤井丙午 八幡製鉄副社長

| | |
|---------|-----------|
| 前 田 義 徳 | 日本放送協会会長 |
| 福 島 慎太郎 | 共同通信社社長 |
| 内 村 直 也 | 劇 作 家 |
| 松 本 重 治 | 国際文化会館理事長 |
| 前 田 陽 一 | 東京大学教授 |
| 法 眼 晋 作 | 外務審議官 |
| 今 日 出 海 | 文化庁長官 |
| 兼 松 武 | 外務省文化事業部長 |
| 安 達 健 二 | 文化庁次長 |

(2) 米 側 代 表

首席代表

ドナルド・シャイブリー
(Donald Shively)

ハーバート大学教授

エルフォード・A・シーダーバーグ
(Elford A. Cederberg)

共和党下院議員

ヒュー・ポートン
(Hugh Borton)

ジャシ・ソサエティ 副会長

ウィリアム・B・クリーブランド
(William B. Cleveland)

エッソ・スタンダード石油(イースタ
ン)社 長

ジョン・ホール
(John Hall)

エール大学教授

ジョージ・パッカート
(George Packard)

フィラデルフィア・プレティン 紙

- | | |
|--|------------------------|
| ウィリアム・シューマン (William Schuman) | 作曲家、リンカーン・センター名 誉会長 |
| アーミン・H・マイヤー (Armin H. Meyer) | 駐日米大使 |
| ジョン・リチャートソン二世 (John Richardson Jr.) | 国務省教育文化担当次官補 |
| ヘンリー・ルーミス (Henry Loomis) | 米国広報庁次長 |
| リチャード・B・フィン (Richard B. Finn) | 国務省日本部長 |
| ロバート・C・リーストマ (Robert C. Leestma) | 保健教育厚生省教育総局国際 研究局長 |

5. 専門委員

(1) 日本側専門委員

| | | |
|-----|----|---------------|
| 江藤 | 淳 | 評論家 |
| 岡野 | 澄 | 日本学術振興会常務理事 |
| 酒井 | 悌 | 国会図書館連絡部長 |
| 大河原 | 良雄 | 外務省アメリカ局参事官 |
| 千葉 | 一夫 | " アメリカ局北米第1課長 |
| 伴 | 正一 | " 経済協力局技術協力課長 |
| 村角 | 泰 | " 情報文化局海外広報課長 |
| 浅羽 | 満夫 | " 文化事業部文化第1課長 |
| 小崎 | 昌業 | " " 文化第2課長 |
| 清水 | 成之 | 文部省大学学術局審議官 |
| 吉川 | 孔敏 | " " 留学生課長 |
| 立松 | 秋雄 | " " 情報図書館課長 |
| 篠沢 | 公平 | 文化庁長官官房国際文化課長 |
| 塩津 | 有彦 | 文化庁文化部芸術課長 |
| 国松 | 治男 | " 文化部国語課長 |

(2) 米側代表団代表代理及び専門委員

代表代理

ダン・オレクシウ ルーミス海外広報庁次
長の代表代理、米国海
外広報庁東アジア太平
洋地域担当次長補

フランシス・B・テニー 代表団の代表代理
國務省教育文化局東アジ
ア太平洋地域計画部長

ジェームズ・ホイト マイヤー米大使の代表代理
米大使館一等書記官

専門委員

フランク・G・マイヤー 米國務省総務担当次官補

リチャード・L・スナイダー 米大使館公使参事官

エドワード・V・ロバーツ 米大使館広報参事官

ロバート・W・ヒアット 米大使館科学アタッシェ

ブリアン・M・パッテイ 米大使館一等書記官

ジェームズ・F・クレイン 米大使館一等書記官

第5回日米文化教育会議最終
コミュニケ

1970年3月(東京)

1. 第5回日米文化教育会議は、1970年3月18日から23日まで東京で開催された。会議は、第1回会議以来の両国間の文化教育交流の総合的検討を行なった後、今後における両国間の文化教育交流および協力を拡大させるための諸方策、アジア諸国に対するそれぞれの文化教育計画の教験の交換並びに日米両国の有識層・文化人の間の相互理解を増進させるための諸問題に関し討議を行なった。

会議は、最近急速に発展しつつある両国関係に対応して、文化教育交流事業を拡大する必要性が一層高まったこと、および社会の急速な変化に伴って、新しい文化教育上の諸問題が生じつつあることを認め、次の勧告を採択した。

- (1) 教育交換の拡大計画に関する諸問題および両国民の相互理解の増進に関する諸問題

について、ひきつづき討議を行なうこととし、そのためそれぞれの分野の専門家の会合を行なうこと。

(2) 両国間の次の分野における交流活動を日米両国において奨励すること。

イ、新聞、テレビジョンその他マスメディア関係者の交流

ロ、両国の産業界が文化教育面で行なっている国際交流活動に関する情報の交換

ハ、両国の初等中等学校教員および中等学校生徒の交流

ニ、両国の中等学校および大学における相手国の文化、歴史に関する教育

ホ、世代間の断層の問題および青少年問題についての情報交換

ヘ、テレビ番組の交流

(3) 両国において従来から行なわれている次の事業をさらに強化すること

イ、アメリカにおける日本研究および日本

におけるアメリカ研究

ロ、アメリカ人に対する日本語教育および

日本人に対する英語教育

ハ、留学生に対するカウンセリング

ニ、日本における人文および社会科学の成

果を紹介する文献の翻訳

ホ、人文および社会科学分野の共同研究

ヘ、図書館職員、図書資料および図書館の

管理・運営に関する情報の交換

- (4) 大学についての共通問題に関し適当な時期に関係専門家によるセミナーを開催すること。

2. 会議が討議した各議題についてのハイライトは、次のとおりであつた。

(1) 第1回会議以来の両国間文化教育交流の

総合的検討

両国代表は、第1回の会議以降現在までの8年間に払われた多くの努力の結果として、文化教育の交流が一段と推進されたことを認めた。

とくに、アメリカにおける日本研究、日本におけるアメリカ研究および図書館協力の成果が高く評価された。言語教育、芸術交流事業等については、今後さらに促進する必要があることが指摘された。また、他の分野に比べて立ち遅れていた人文および社会科学の領域における共同研究については、これが組織的、かつ、活発に実施されるにいたつたことが高く評価された。

会議は、両国民の間の一層効果的な理解を図るためには、日本研究および米国研究

を含む人文科学および社会科学の分野での一層多くの専門家の養成と交流を促進することが急務であることを認め、かつ、この会議設立の趣旨に立ちかえつて重要な研究課題を設定して共同研究をさらに進めるとともに、日米双方とも相手国国民のもつ価値観に対する理解を深めることが必要であることが指摘された。

また、それぞれの国民が相手国についての正しいイメージをもつことによつて誤解の発生を防ぐ上で、新聞とテレビジョンが大きな役割を果たすことにかんがみ、新聞記者およびテレビジョンプロデューサーの交流の活発化が望ましいことが強調された。

さらに、両国代表は、外国語としての日本語または外国語としての英語の教育に関し、現在双方が行なっている事業の強化および教育方法の改善について、両国の関係者が常時情報および意見の交換を行なう

ことが望ましいことを指摘した。

(2) アジア諸国に対するそれぞれの教育文化
計画の経験の交換

日米両国は、この分野で多くの類似の経験をもっていることにかんがみ、かつ、両国の経験についての情報と意見の交換がそれぞれの国で行なわれている事業の改善に役立つことを認め、両国のこれまでの経験とこれらの経験から生じたさまざまな問題点について意見を交換した。

とくに、留学生の受入れの問題については、(1)受入れ国の言語を能率的かつ効果的に修得させること、(2)留学生の派遣国の国情に精通した専門家を養成すること、(3)留学生の母国の国情に即した受入体制および教授方法を研究すること、並びに(4)留学生が帰国後において留学中に修得した知識および技術を生かしうるよう配慮することの必要性が強調された。

(3) 教育交換計画の拡大とこれに関連する問題

会議は、日米両国が一層緊密な関係に移行しつつある新しい情勢に対応して新たな観点から、両国間の教育交換のあり方およびその拡大の方途について意見の交換を行なった。

両国代表は、今後の両国間の教育交換を一層効率的に実施するため学生、学者、研究者の交換の重要性を指摘するとともに、さらに、両国の相互理解にとつて特に影響力の強い新聞、テレビジョン等の分野における関係者の交流を含めることの望ましいことが指摘された。

両国代表は、さらに、政府の関与する公の教育交換計画は、民間資金では実現が困難な分野、とくに、日本におけるアメリカ研究、アメリカにおける日本研究、日本人に対する英語教育、アメリカ人に対する日

本語教育、並びに人文および社会科学の分野に重点をおくべきことを指摘し、また、その実施に当つては、それぞれの分野で質的に優れた者を選ぶことが必要であることが指摘された。また、過去において、両国間の公の計画により米国に留学した日本人の多くが現在日本の各界の中堅となつており、他方同計画により日本に留学した米国人の多くが米国における日本研究を推進していることは、この計画の果してきた大きな役割を実証するとともに、これを高く評価すべきであることが指摘された。

(4) 両国の有識層・文化人の相互理解増進に関する諸問題

会議は、日米両国の有識者の相互理解を妨げている要因およびこれらの要因を緩和し、相互理解を増進する方法について、十分な分析を行なつた。

両国代表は、両国民の相互理解を困難に

している要因は、単に両国の言語および伝統が異なることにあるばかりでなく、両国間の政治および経済の問題とも無関係でないことをも考慮に入れて、両国の広い範囲の知識層および文化人との相互理解の促進が、障害要因の除去を図る上で、大きな役割を果たすことを指摘した。

両国代表は、また、両国の社会がそれぞれ急速に変化していること、およびそれぞれの社会の内部における断絶の現象も上記の問題と関係があることを指摘した。

3. 会議は、第4回会議の最終コミュニケに基づき設立された日米文化教育協力に関する合同委員会の両パネルの事務局を強化すべきことを勧告した。

1972年ワシントンにおいて開かれる次回会議の期日は、1971年ハワイで開かれる合同委員会において協議する。

Final Communique of
the Fifth United States-Japan Conference
on Cultural and Educational Interchange

Tokyo, March 23, 1970

I. The Fifth Japan-United States Conference on Cultural and Educational Interchange was held in Tokyo from March 18 to 23, 1970. The Conference began with a comprehensive review of cultural and educational interchange between the two countries since the First Conference. It then discussed ways to expand cultural and educational interchange and cooperation in the future, exchanged views on the experiences of both countries in their cultural and educational programs with Asian countries and considered problems in the promotion of mutual understanding between the intellectual and cultural communities of the two countries.

Recognizing the growing need to expand cultural and educational interchange to keep up with the rapidly developing relations between the two countries and taking into consideration new cultural and educational conditions brought by the rapid changes in society, the Conference adopted the following recommendations:

A. The following subjects should receive continuing study in meetings of the experts concerned:

Expansion of the educational exchange programs;

Means for increasing mutual understanding between the two peoples.

B. The activities of the two countries in the following fields should be encouraged:

1. Exchange of journalists, television producers and other mass media personnel;
2. Exchange of information on international cultural and educational exchange activities by business and industry in the two countries;

3. Exchange of elementary and secondary school teachers and high school students of the two countries;
4. Teaching of the culture and history of the other country in the high schools and colleges of each country;
5. Exchange of information on:
 - The gap between the generations;
 - Youth problems;
6. Exchange of television programs.

C. The following activities, already being carried on in the two countries, need further strengthening:

1. Japanese studies in the United States and American studies in Japan;
2. Japanese language training for Americans and English language training for Japanese;
3. Counseling for foreign students;
4. More translation into English of Japanese research in the social sciences and humanities;
5. Joint research in the social sciences and humanities;
6. Exchange of library personnel, reference materials and information on library administration.

D. Common problems of the universities in the two countries should be the subject of a seminar at an appropriate time.

II. The highlights of the discussions on each topic of the Conference were as follows:

A. Comprehensive review of cultural and educational interchange between the two countries since the First Conference

The Delegates noted that cultural and educational interchange has greatly increased through the efforts made during the past eight years since the First Conference.

In particular, the progress in Japanese studies in the United States, American studies in Japan, and the cooperation between libraries were rated very highly. At the same time, it was stressed that future efforts are needed to promote language instruction and exchanges in the arts. The need for more systematic and active joint research in the relatively neglected fields of social sciences and humanities was also emphasized and efforts made in this direction were highly appreciated.

The Conference recognized the urgent need to train and exchange more specialists in the social sciences and humanities, including Japanese studies and American studies, in order to achieve better understanding between the two countries.

In line with the purpose of the Conference, important subjects should be selected for joint research, and greater understanding should be developed of the sense of values in each other's country.

In view of the importance of newspapers and television in conveying a correct image of each people to the other, it was stressed that more frequent exchanges of newspaper writers and television producers are desirable in order to avoid misunderstandings.

The Delegates also pointed out the desirability for continuous exchange of information and views among those concerned with the improvement and the increase in both the teaching of Japanese and English as foreign languages.

B.

B. Exchange of experiences in respective educational and cultural programs with Asian countries

Since the two countries share many similar experiences in this area, the Conference recognized the value of exchanging information and views on their experiences in order to improve their respective programs.

The following points about foreign students were emphasized as common problems requiring further study:

1. Effective language teaching;
2. The development of specialists familiar with conditions in the countries from which the students come;
3. Study of methods for handling and teaching foreign students in a way adapted to the conditions of the country from which they come;
4. The provision of knowledge and techniques that can be applied by the students after their return to their home countries.

C. Expansion of the educational exchange program and related questions

The Conference exchanged views on the nature of educational exchange and ways to enlarge it in step with the new developments in close relationship between the two countries.

Along with the importance of exchanging students and scholars, the Delegates pointed out the desirability of making the exchange more effective by including press, television and other mass media personnel, who have great potential for improving understanding between the two countries.

The

The Delegates also pointed out that government supported educational exchange programs should emphasize fields which are relatively difficult to support with private funds. In particular, these should include American studies in Japan, Japanese studies in the United States, English language instruction for Japanese, Japanese language instruction for Americans, and the social sciences and humanities. These programs should emphasize high quality in the choice of participants.

It was recalled that many Japanese grantees who studied in the United States under the bilateral government program are now playing important and active roles in Japan while American grantees who studied in Japan under the said program have become the driving force for promoting Japanese studies in the United States. These facts demonstrate the significant role played by this program, and it was noted that the program deserves much credit for its achievements.

D. Problems in achieving an increased understanding between the intellectual and cultural communities of the two countries

The Conference analyzed in depth the factors impeding mutual understanding between the intellectual and cultural communities of the two countries, and the steps which may be taken to moderate these factors and increase mutual understanding.

Noting that obstacles to mutual understanding of the two peoples are not limited to differences in language and tradition and that these obstacles are often related to political and economic questions between the two countries, the Delegates pointed to the importance of promoting a broad exchange between the two intellectual and cultural communities in the solution of the various problems shared by Japan and the United States.

The Delegates also noted that rapid changes taking place in the societies of the two countries and divisions within these societies are related problem areas.

III. The Conference recommended that the secretariat of the two panels of the Joint Japan-United States Committee on Cultural and Educational Cooperation, established in accordance with the Final Communique of the Fourth Conference, should be strengthened.

The timing of the next Conference to be held in Washington, D.C. in 1972, will be considered at the meeting of the Joint Committee to be held in Hawaii in 1971.